

一般会計補正予算

| | |
|-----------------|----------|
| 施設整備費 / 保健センター費 | 2429万4千円 |
| 施設整備費 / 体育施設 | 789万円 |
| 印鑑登録システム改修事業費 | 133万1千円 |

など

令和元年度一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ5億7409万7千円を追加し、総額を308億9127万5千円とするもので、賛成多数により原案のとおり可決されました。

主な質疑

問 美和ゲートボール場用地購入の経緯は。

スポーツ課長 土地所有者から譲渡売買したいという申し出があり、土地賃貸借契約書に、土地所有者が賃貸借の期間中に土地の譲渡を希望するときは、市はこれに応ずるものとするがあり、購入

問 ゲートボール場は将来的にも運用するのか。



美和ゲートボール場

スポーツ課長 今後も体育の振興に寄与するため、維持管理したい。

問 新庁舎建設に当たり、非常用電源の燃料を置く場所はどのあたりか。

新庁舎建設課長 庁舎棟北西部の地下に燃料タンクを埋設予定。

問 千葉県で台風による大規模な停電が発生し、鉄塔が倒壊した。新庁舎建設予定地の中に送電鉄塔があるが、どれだけの風速に耐えられるか。また、耐震性能は。

新庁舎建設課長 風速約60m、震度7程度。

討論(要旨)

【反対討論】

加藤哲生 印鑑登録システム改修事業費は、希望者に対し印鑑登録証明書に旧氏を記載することで、女性の活躍推進に寄与するので賛成。また、美和保健センターの老朽化した空調設備の工事は、大変よいことである。しかし、この補正予算の中で、新庁舎整備に関わる工事がある。もちろん水路改修を行うことは必要だが、約77億を超える」と予想される新庁舎建設。本当にこのような高い庁舎が要るのか。市民病院の財政赤字もある。約10億の財政基金があるといっても、お金には限界がある。いわゆる箱物よりも人を大切にしなければならぬ。福祉、教育にお金が必要である。よって、反対する。

【賛成討論】

横井敏夫 補正予算中、新庁舎整備については、過剰、華美でないことが必要かと思う。また、勘案しなければならぬのが、効率的な市債の発行であり、合併推進債や緊急防災・減災事業債の活用である。この起債制度をうまく活用することにより、いかに将来負担を下げ、財政の硬直化を避けていくかが大きな問題である。現計画では、新庁舎整備費の総額約77億円に対し、合併推進債、緊急防災・減災事業債の活用により地方交付税措置が約39億円となり、市の持ち出し分は約38億円、全体の50%を切る。一方、5年〜10年後に、今回と同様に建て替えようとしたときは、地方交付税措置の適用を受けることはかなわず、市の持ち出し分は、建設費の100%、約77億円となる。そうな

ると、現在行われている長期財政見直しは根本から覆り、財政の厳しい硬直化を招きかねず、地方交付税措置の適用のある市債の発行なくしてはとてできない。

また、合併推進債の適用期限は令和6年度末となっており、緊急防災・減災事業債の適用期限は2年度末であることを考えると、今のタイミングでの新庁舎整備は不可避。以上の点から、ますます増加する社会保障費やインフラを含む公共施設の老朽化対策によって、今後の財政運営が厳しさを増していくものと想定される中、新庁舎整備は現在のタイミングを逃すと、かえって市の将来に重い負担を残すものと考え、賛成する。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。